

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
株主確定基準日	・ 定時株主総会・ 期末配当 3月31日 ・ 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告の方法により行います。但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができないときは、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (http://www.denka.co.jp/)
株主名簿管理人 同事務取扱所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
上 場 取 引 所	東京証券取引所
証 券 コ ー ド	4061

■ 株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

1. 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先
これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。
2. 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先
 - ① ほふり（証券保管振替機構）に株券を預けられている株主様：お取引証券会社等
 - ② ほふりに株券を預けられていない株主様：特別口座管理機関である中央三井信託銀行
お問い合わせ先は、上記株主名簿管理人と同じです。

■ 株券電子化実施前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取扱いについて

ほふりに株券を預けられていない株主様に関しまして、以下の期間お取扱いを変更させていただきます。

1. 単元未満株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日から平成21年1月4日までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日とさせていただきます。また、平成21年1月5日から平成21年1月25日までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。
2. 単元未満株式の買増請求につきましては、平成20年12月12日から平成21年1月25日までの間、受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求・買増請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

電気化学工業株式会社

<http://www.denka.co.jp/>



DENKA

電気化学工業株式会社

株主通信

第150期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

特集 ● 世界に広がる当社製品～デンカANプレート・デンカアルシंक



代表取締役社長

川端 世輝

「強いものをより強く」の 基本方針を貫き、 DENKA100の目標に邁進いたします

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成20年度中間期の当社概況をご報告するにあたって、ひとことご挨拶を申し上げます。

米国に端を発した金融危機はその後全世界に拡大し、その影響は实体经济にまで影を落としております。急速に悪化した景況や不安定な為替相場、暴騰した後方向性が見えづらくなっている資源価格の動向など、企業を取り巻く環境は極めて厳しく、かつ不透明さの度合いを一層ましつづあります。

このような中、当社では原燃料価格上昇分の製品価格への転嫁に注力いたしましたが、景況悪化の影響等もあり、売上高は前年同期を上回ったものの、収益面では残念ながら減益を余儀なくされる結果となりました。

CONTENTS

株主のみなさまへ	1
特集—世界に広がる当社製品	3
連結財務ハイライト	5
営業の概況 (連結)	6
セグメント別概況	7
連結財務諸表	9
トピックス	11
CSR	12
会社概要	13
株式の状況	14

DENKA100の6本の柱

DENKA100

～創立100周年に向けた新たな挑戦～



しかしながら、このような環境下であっても「強いものをより強く」していくという当社基本方針に変わりはありません。現在、能力増強を進めておりますクロロブレンゴム、高分子ヒアルロン酸製剤、モノシランガスといった製品は、それぞれ市場において強い競争力を持っており、収益への貢献を期待することができます。これら、強い事業をより強くすることで、環境変化の影響を受けづらいた定的な高収益体質が獲得できるものと信じております。

一方で、本年4月に実施した営業部門組織の刷新や、台湾・香港における販売拠点の新設など海外展開の強化、そして電子材料総合研究所の開設など、変化への対応と成長への布石も着実に

おります。

当面の間は、厳しい環境が続くものと思われまますが、目先の変化に惑わされることなく、DENKA100で掲げている各種施策を着実に実行し、“高い技術力で「資源」から「価値あるモノ」を生み出す企業”となるべく役職員一同、全力を挙げて取組んで参る所存でおりますので、株主のみなさまには一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成20年11月

世界に広がる当社製品～デンカANプレート・デンカアルシंक

当社には、世界市場で高く評価され、高シェアを有する様々な製品があります。今回はその一部として、世界で活躍する電子材料製品「デンカANプレート」「デンカアルシंक」をご紹介します。

電車向けで世界トップシェア

電車の駆動モーターを制御するパワーモジュールに欠かせない部品として、この用途で世界トップシェアを有しており、現在、世界で製造されている電車の大部分に当社製品が搭載されています。これらは福岡県大牟田工場にて製造しています。

高シェアの理由—信頼性が命

電車は多くの人々が利用する乗り物です。その制御装置に使用される部品には、様々な面で高い性能（※1）と信頼性が求められます。当社には、トップメーカーとして常に市場の要求に応え続けてきた実績があり、これが最大の強みとなっています。

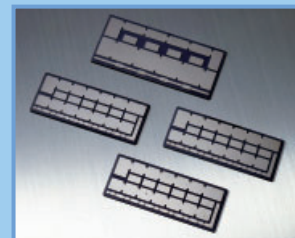
デンカアルシंक

アルミニウムとセラミックスからなる複合材料で、低熱膨張、高熱伝導、高強度、軽量などを兼ね備えた優れた素材です。IGBTやダイオードなどの高信頼性を求められるパワーモジュール用ベース板に使用されています。



※1：要求される性能の例

- 耐ヒートサイクル特性
ロシアなどの極寒地を走る電車の場合、その駆動部は運行中100℃を超える高温となる一方で、運行終了後は-30℃以下になることもあるので、このような温度変化の繰り返しに耐える必要があります。
- 耐高電圧性
同じパワーを出す場合、電圧が高いほど電流を小さくできるので、エネルギーのロス（発熱）を抑えることができます。このため大出力を必要とする電車では、1,700～6,500Vの高電圧が使われています。



デンカANプレート
窒化アルミニウムをベースとする高熱伝導性セラミックス基板で、パワートランジスタ・モジュールや高周波～マイクロ波半導体回路など、高い絶縁性と放熱性が要求される分野において活躍しています。



今後の成長見通し

現在、中国・ロシア・中東諸国など、新興国・資源大国において、社会インフラである鉄道網の整備が進んでおり、今後もこれらの需要は伸びつづけると考えられます。また、近年、低エネルギー大量輸送手段（※2）として電車が見直される動きもあります。

これらのことから、当分の間、電鉄需要は年率10～20%程度の成長が続くと見られています。

※2：電車はエコな乗り物

電車は、自動車や航空機などに比べ、輸送量当たりのエネルギー消費量・CO₂排出量が少なく、環境により乗り物といえます。

●輸送量当たりのCO₂排出量（平成17年度）

単位：g-CO₂/人キロ
（資料）国土交通省



風力発電・その他

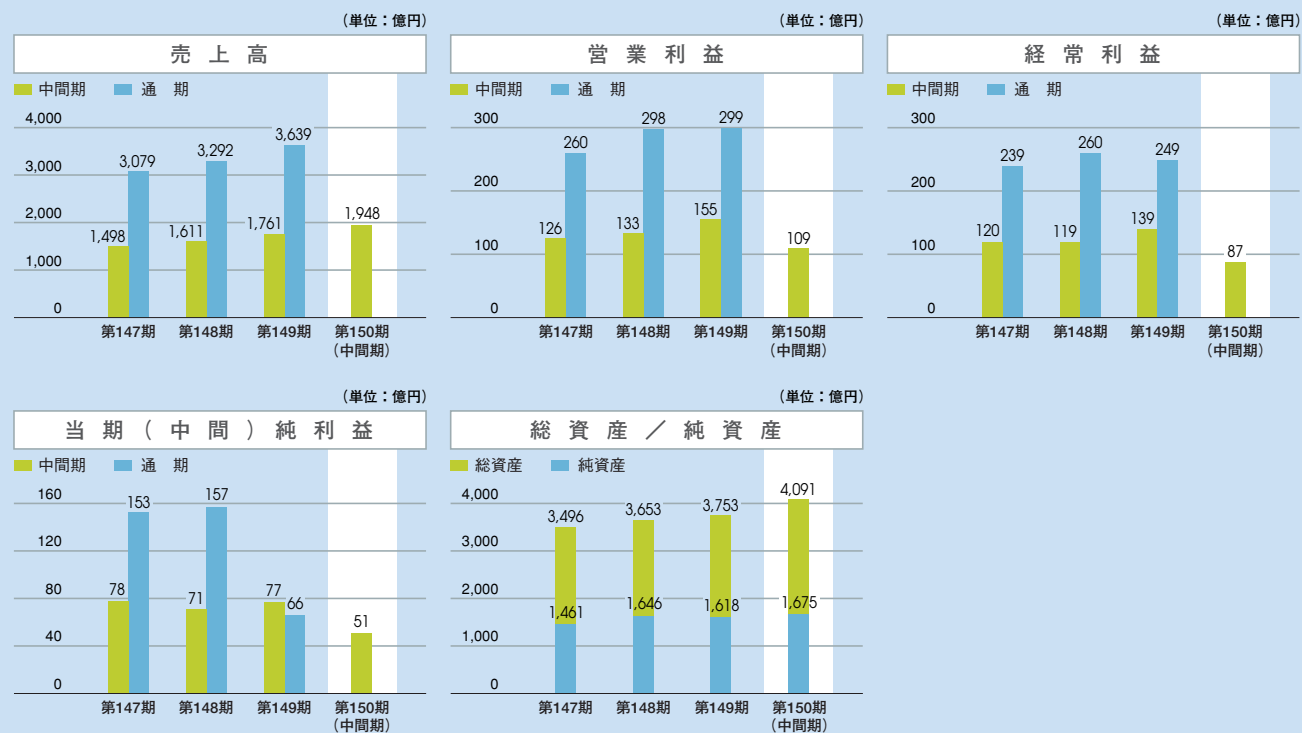
デンカANプレートやデンカアルシंकは、電車用途のほか、風力発電装置にも使われています。クリーンエネルギーとして導入が進んでいるこの分野は、年率20%程度の市場成長が見込まれています。

また、風力発電以外に、ハイブリッド車などの部材としても利用されています。

Financial Highlights

連結財務ハイライト

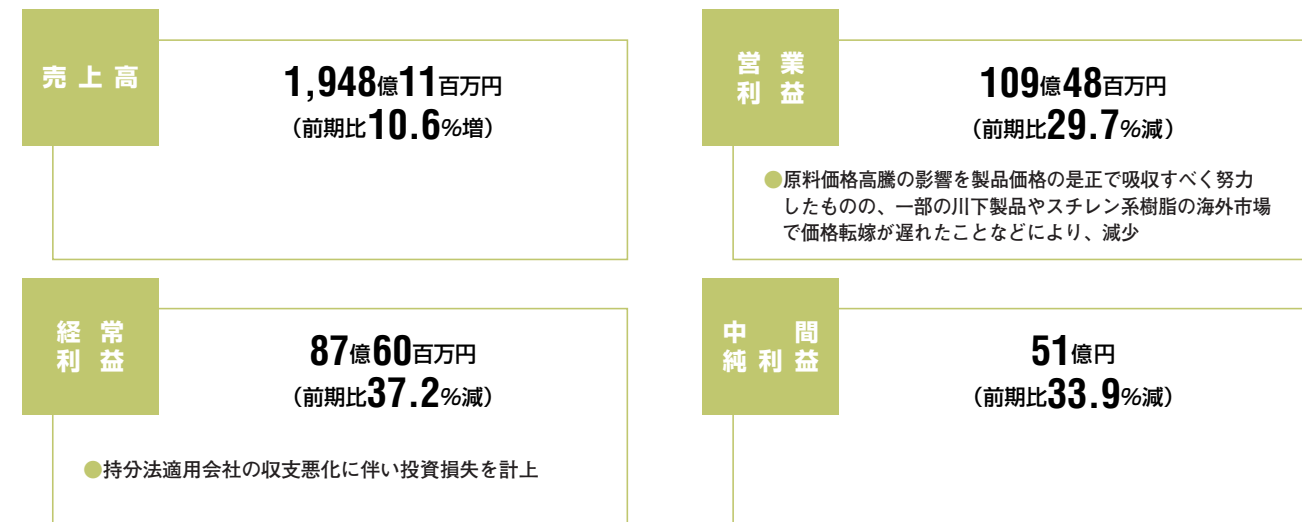
	第147期 平成17年度	第148期 平成18年度	第149期 平成19年度	第149期(前中間期) 平成19年度	第150期(当中間期) 平成20年度
売上高(百万円)	307,923	329,262	363,996	176,180	194,811
営業利益(百万円)	26,069	29,877	29,912	15,565	10,948
経常利益(百万円)	23,913	26,006	24,918	13,954	8,760
当期(中間)純利益(百万円)	15,365	15,734	6,660	7,714	5,100
総資産(百万円)	349,689	365,301	375,364	369,373	409,120
純資産(百万円)	146,148	164,643	161,870	169,314	167,570
自己資本比率(%)	41.8	43.5	41.6	44.3	40.3
1株当たり当期(中間)純利益(円)	31.08	32.03	13.57	15.71	10.12
1株当たり純資産額(円)	297.23	323.81	317.91	333.31	326.75



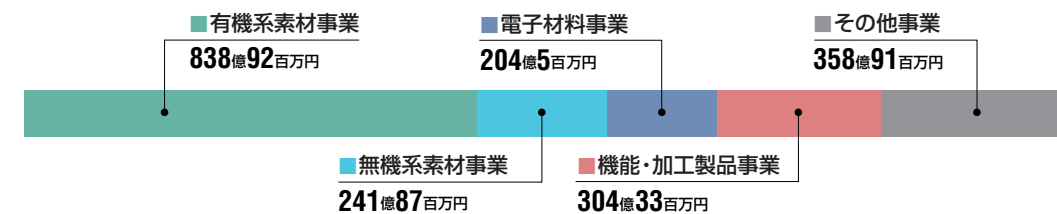
Outline of Operating Results

営業の概況(連結)

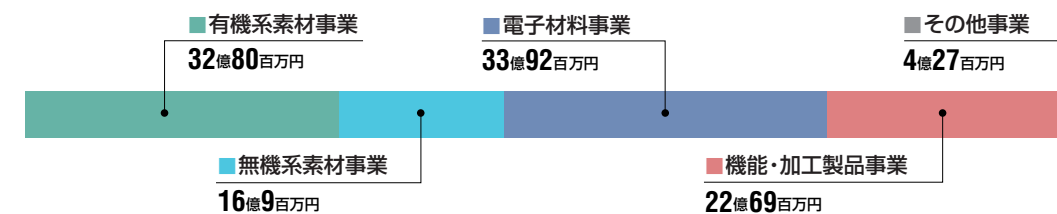
業績全般の概況



セグメント別売上高



セグメント別営業利益



43.1%

有機系素材事業

樹脂原料、合成樹脂、酢酸系化成品、合成ゴム等

有機系素材事業では、スチレンモノマーが隔年実施の定期修繕を行ったことに伴い生産数量が減少したことに加え、原料価格の高騰とアジア市況の軟化により採算が悪化したことからスチレン系樹脂全般の輸出販売を縮小いたしました。AS・ABS樹脂等は国内販売価格の値上げを打ち出しましたが、原料値上げ分を完全に転嫁するには至りませんでした。ポパールは輸出の販売数量が伸びるとともに国内外で販売価格の

是正が進み増収となりました。クロロprenゴムの輸出は自動車関連用途や接着剤用途を中心に販売数量を伸ばし増収となりました。



薄型テレビ用ディスプレイに使用される「透明ポリマー」



PETボトルのラベルフィルムに使用されている「クリアレン」



クロロprenゴムが使用された自動車部品（ワイパー）

12.4%

無機系素材事業

肥料・無機化学品、セメント、特殊混和材

無機系素材事業では、肥料は輸入競合品の流入減少と新肥料年度からの値上げを見込んだ駆け込み需要もあり販売数量が増加し大幅な増収となりました。鉄鋼用材料である窒化けい素鉄“ファイアレン”等の耐火物は順調に販売数量を伸ばすとともに販売価格の是正により増収となりました。セメントは製品価格の値上げに努めましたが、官民ともに需要は冷え込んでおり販売数量は減少しました。特殊混和材も大口工場の減少等により販売数量が減少し減収となりました。



カーバイド



廃棄物受入などでリサイクルにも活躍するセメント工場



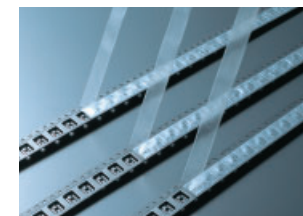
グラウト用無収縮材が使用された橋梁

10.5%

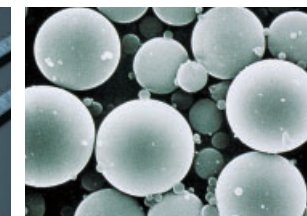
電子材料事業

電子部品、電子包材、機能性セラミックス

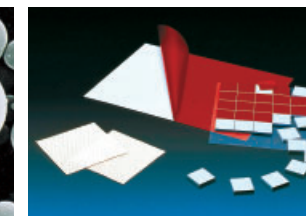
電子材料事業では、電子部材の電子回路基板は、産業機器や電鉄向けを中心に販売数量が増加しました。電子部品、半導体の搬送資材である“デンカサーモシートEC”“クリアレンシートC”等が輸出を中心に販売数量を伸ばし増収となりました。また、光学レンズ向けなどに紫外線硬化型接着剤“ハードロックOP/UV”が順調に販売数量を伸ばしました。デナールシラン株式会社のモノシランガスは順調に販売数量を伸ばし増収となりました。



電子部品搬送資材（キャリアテープとカバーテープ）



半導体封止材の充填材に使用される熔融シリカフィラー



電気製品の熱対策・小型化に寄与するデンカ放熱スペーサー

15.6%

機能・加工製品事業

食品包材、建築資材、産業資材、医薬関連

機能・加工製品事業では、産業資材は合織かつら用原糸“トヨカロン”が北米やアフリカ諸国向けの輸出を中心に販売数量を伸ばし増収となりました。また、耐候性フッ素系アロイフィルム“DXフィルム”も販売数量を伸ばし増収となりました。食品包材用シートは販売数量を伸ばすとともに製品価格の値上げに努めましたが、子会社デンカポリマー株式会社の加工品は価格転嫁が遅れており厳しい状況でした。医薬におきましては、関節機能改善剤（高分子ヒアルロン酸製剤）は順調に販売数量を伸ばし増収となりました。また子会社のデンカ生研株式会社は、国内での化学発光検査試薬の販売数量の増加やインフルエンザワクチンや関連試薬の前倒し出荷等により増収となりました。



OPS成形製品（食品容器）



電気絶縁テープ「ビニテープ」



関節機能改善剤「スベニール」

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別 当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結 会計年度末 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産	155,248	134,284
現金・預金	3,425	3,212
受取手形・売掛金	85,297	71,037
たな卸資産	56,305	47,575
その他	10,448	12,679
貸倒引当金	△ 229	△ 221
固定資産	253,872	241,080
有形固定資産	195,788	185,683
無形固定資産	5,486	2,240
投資有価証券	40,314	41,175
その他	12,631	12,152
貸倒引当金	△ 349	△ 171
資産合計	409,120	375,364

(単位：百万円)

科目	期別 当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結 会計年度末 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債	170,957	161,319
支払手形・買掛金	60,546	53,554
短期借入金	53,384	48,632
コマーシャルペーパー	13,000	5,000
1年以内償還社債	—	10,000
その他	44,027	44,132
固定負債	70,592	52,173
社債	30,000	20,000
長期借入金	16,777	8,696
その他	23,814	23,477
負債合計	241,549	213,493
純資産の部		
株主資本	148,280	138,176
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,310	41,576
利益剰余金	62,740	60,286
自己株式	△ 769	△ 684
評価・換算差額等	16,411	17,845
少数株主持分	2,879	5,848
純資産合計	167,570	161,870
負債及び純資産合計	409,120	375,364

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別 当第2四半期 連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間 連結会計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
売上高	194,811	176,180
売上原価	156,903	136,059
販売費・一般管理費	26,960	24,555
営業利益	10,948	15,565
営業外収益	957	1,508
営業外費用	3,145	3,119
経常利益	8,760	13,954
特別利益	—	7
特別損失	—	192
税金等調整前四半期純利益	8,760	13,769
法人税、住民税及び事業税	3,507	4,024
法人税等調整額	—	1,870
少数株主利益	152	160
四半期純利益	5,100	7,714

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別 当第2四半期 連結累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間 連結会計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,568	16,098
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,815	△ 8,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,473	△ 7,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△ 2
現金及び現金同等物の増減額	234	190
現金及び現金同等物の期首残高	3,162	3,841
新規連結子会社及び連結除外会社による 現金及び現金同等物の影響額	△ 27	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,369	4,032

ご注意：当第2四半期の財務諸表について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されました。適用される会計基準や用語などが、当四半期に係る財務情報と前年同期に係る財務情報との間で異なりますが、本書における数値比較の利便性を考慮し、主要な財務項目を並べて記載することといたしました。前年同期に係る数値やグラフは参考データとしてご確認ください。

青海工場で主力製品の増産工事を推進

現在、当社の主力工場である青海工場では、収益の柱であるクロロブレンゴムならびに高分子ヒアルロン酸製剤（スベニール）とモノシランガスの生産能力増強工事を推進しております。これらの製品は需要拡大が続いており、完成後は当社業績への貢献が大いに期待されます。

スベニール新プラント完成予想図▶



1 クロロブレンゴム

耐熱性・耐候性・耐油性等のバランスに優れた特殊合成ゴムで、自動車用部品や各種工業ベルト、接着剤、ウェットスーツなど幅広い用途に使用されています。2010年初めには、生産能力を現状の年7万tから10万tに引き上げ、世界トップメーカーを目指します。



2 高分子ヒアルロン酸製剤（スベニール）

当社が製造し、中外製薬(株)が製造・販売元である関節機能改善剤です。2010年秋までに生産量年1,500万本の設備を新設し、生産量を現状の1.5倍に増強します。



3 モノシランガス

半導体、液晶パネルや太陽電池の製造工程に用いる特殊工業ガスであり、子会社のデナールシラン(株)が製造を担当しています。今後、太陽電池の製造用として大きな需要が期待されており、今般、生産能力を年320tから500t以上に増強し、本年12月からの操業を予定しております。また、今後の需要増に対応するため、更なる能力増強も検討しています。

「DENKA CSR報告書 2008」発行

当社は、会社創立100周年に向けた全社運動「DENKA100」を展開し、その重要施策の一つとして、「CSR（企業の社会的責任）の推進」を掲げております。このたび当社は、このCSR活動の取り組みをまとめた「CSR報告書2008」を発行いたしました。

この報告書では、当社事業の紹介とともに、環境への取り組みを含む、全てのステークホルダーから信頼されるための企業活動を紹介しております。第2回目の発行となる今年度は、「社会」への活動に重点をおいて作成いたしましたので、その内容の一部をご紹介します。

「CSR報告書」は、当社ホームページ（<http://www.denka.co.jp/>）に掲載しておりますので、そちらもご覧ください。



■ 地元小中学生の工場見学

青海工場では、地元小中学生のみなさんに工場見学をしていただいております。2007年度も、5つの地元小中学校の生徒、保護者を含め150名を超える多数の方々にお越しいただき、工場見学会を開催いたしました。

見学会では、青海鉱山で稼働している日本最大の218tダンプの荷台に乗り、当工場内で養殖しているウナギの手掴みを行ったりするなど、小中学生のみなさんに興味を持っていただけるようなコースを用意しております。また、化学を身近なものとして認識してもらうための簡単な化学実験も行っています。



■ あじさいの植栽活動

国土交通省と渋川市の事業として、1999年11月に国道17号線中央分離帯に8,000本のあじさいが植えられ、その維持管理を地元の中村自治会が委託されました。

渋川工場は企画の段階から協力要請を受け、地域貢献の一環として協力してまいりました。毎年4月から11月までの間、中村自治会のみなさんとともにあじさい用地の除草剪定作業を行っています。

毎年6月には一面にきれいなあじさいの花が咲き、通行される人たちの目を楽しませています。



会社概要 (平成20年9月30日現在)

設立 大正4年5月1日
 資本金 369億9,843万6,962円
 従業員数 連結4,856名 単体2,742名
 事業所

- 本社
 〒103-8338 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号
 電話 03 (5290) 5055
- 支店
 大阪、名古屋、福岡、新潟、北陸 (富山市)、札幌、東北 (仙台市)
- 営業所所在地
 長野市、群馬県高崎市、静岡県、広島市、高松市、秋田市、埼玉県上尾市、台湾台北市
- 工場
 青海 (新潟県糸魚川市)、大牟田、千葉 (千葉県市原市)、渋川、大船 (神奈川県鎌倉市)、伊勢崎
- 研究所
 中央研究所 (東京都町田市)、
 電子材料総合研究所 (群馬県渋川市、10月1日開設)

海外現地法人

ニューヨーク、デュッセルドルフ、シンガポール、上海、蘇州、香港

役員一覧 (平成20年9月30日現在)

取締役および監査役ならびに執行役員

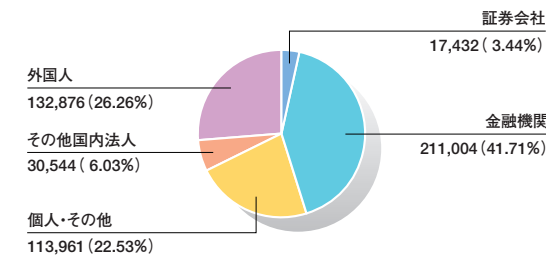
代表取締役社長 社長執行役員	川 端 世 輝
代表取締役 副社長執行役員	伊 藤 東 一
代表取締役 専務執行役員	南 井 宏 二
取締役相談役	晝 間 敏 男
取締役 常務執行役員	虎 谷 卓 一
取締役 常務執行役員	豊 岡 重 利
取締役 常務執行役員	前 田 哲 郎
取締役 上席執行役員	吉 高 紳 介
取締役 (社外)	田 中 紘 三
取締役 (社外)	堀 越 董 吉
上席執行役員	佐久間 信 邦
上席執行役員	武 渡 富 均
上席執行役員	小 野 健 一
上席執行役員	星 守 隆 晃
執行役員	福 田 林 晴 男
執行役員	小 木 村 石 秀 夫
執行役員	大 青 柳 龍 弘 邦
執行役員	植 松 大 一 郎
執行役員	藤 井 正 太 郎
執行役員	枚 山 信 二
執行役員	松 本 茂 紀
常勤監査役	松 遠 竹 行 隆 康
常勤監査役 (社外)	田 中 龜 一 明
監査役	土 龜 憲 一
監査役 (社外)	多 田 敏 明

株式の状況 (平成20年9月30日現在)

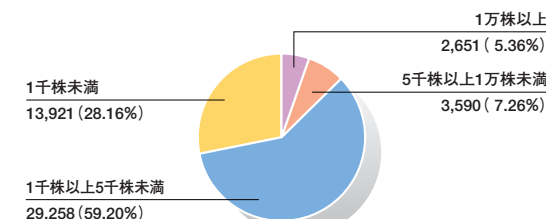
- 発行可能株式総数 1,584,070,000 株
- 発行済株式総数 505,818,645 株
- 株主数 49,420 名
- 大株主

株主名	持株数	出資比率
	千株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	45,093	8.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	27,357	5.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	23,348	4.61
全国共済農業協同組合連合会	21,965	4.34
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	15,275	3.01
三井生命保険株式会社	13,908	2.74
三井住友海上火災保険株式会社	6,916	1.36
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	6,825	1.34
野村証券株式会社	6,514	1.28
インベスターズ バンク ウェスト ペンション ファンド クライアーツ	5,731	1.13

■ 株式所有者別分布状況 (単位：千株)



■ 株式所有数別分布状況 (単位：名)



当期 (平成21年3月期) の「中間配当金」のお支払いについて

配当金計算書または配当金領収証にてご案内のとおり、**当期の中間配当金は、1株につき5円**とさせていただきます。

■ ホームページのご紹介

当社ホームページでは、株主・投資家のみなさまへの情報提供の場として、IR情報に関するページを設けております。最新の企業情報や財務情報を掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

<http://www.denka.co.jp/>

IR情報



トップページ